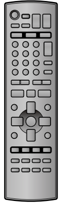
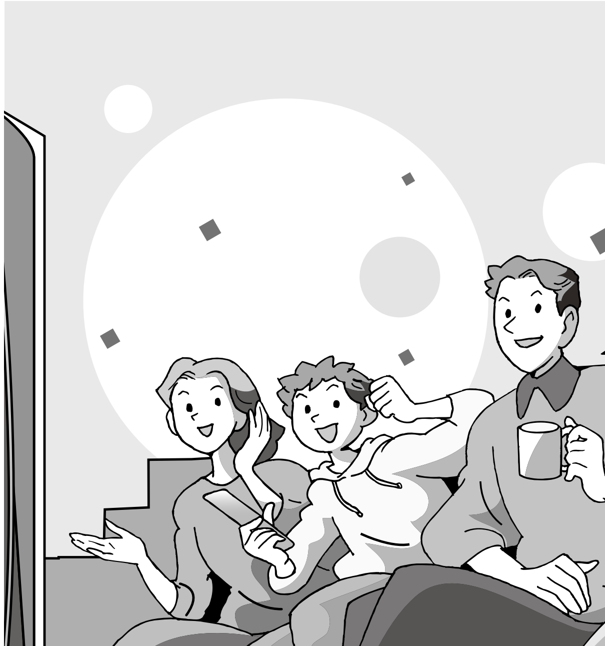
Panasonic®




取扱説明書
DVD/CDプレーヤー

品番　**DVD-S97**



このたびは、DVD/CDプレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（☞2～3ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**

■お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。









DVDビデオのリージョン番号

発売地域別にディスクとプレーヤーに割り当てられた番号です。
本機の番号は「2」です。
「2」（または「2」を含むもの）と「ALL」が表示されたDVDビデオの再生が可能です。

（例）



もくじ

準備

操作

ご参考

保証書別添付　上手に使って上手に節電

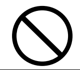
安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

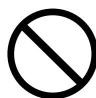
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。



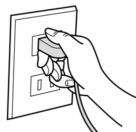
傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない


ぬれ手禁止

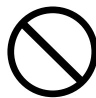
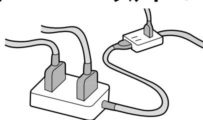
感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

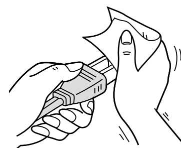
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

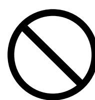
電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使わないときは、電源プラグを抜いてください。

ご使用について

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない

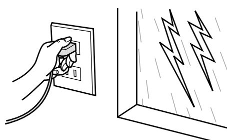

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

雷について

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

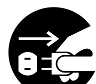

接触禁止



感電の原因になります。

もし異常が起こったら

異常があったときは、電源プラグを抜く


電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

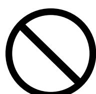
そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

 注意

設置・接続について

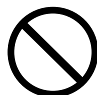
不安定な場所に置かない



- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
- 本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

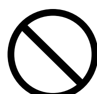
異常に温度が高くなるところに置かない



外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

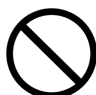
油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

持ち運びについて

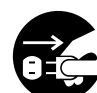
コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

ご使用について

長時間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く


電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクは、保護のため取り出しておいてください。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

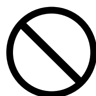

指に注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

乾電池について

電池は誤った使いかたをしない



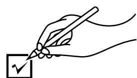
- ⊕と⊖は逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ネックレスなどの金属物といっしょにしない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 長期間使わないときは、取り出しておいてください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。

液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

付属品



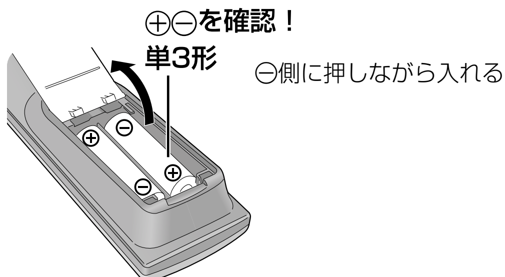
買い替えは、かっこ内の品番で、お買い上げの販売店へご注文ください。
電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

品番は2004年8月現在のものです。

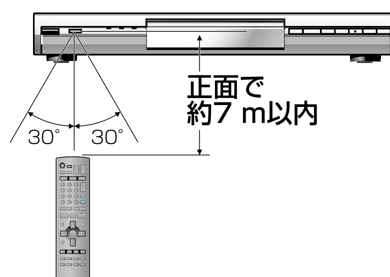
- □ リモコン（EUR7720KD0）
- □ 電源コード（VJA1072）
- □ 音声／映像コード（K2KA2CA00009）
- □ HDMIケーブル（K1HA19DA0001）（2.0 m）
- □ リモコン用乾電池（単3形：2本）

準備1 リモコン

乾電池（付属）を入れる



使用範囲

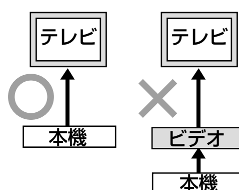


準備2 接続

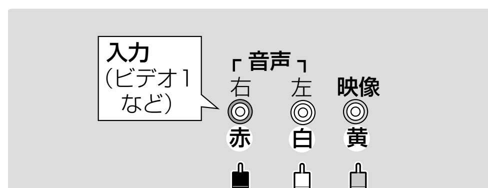


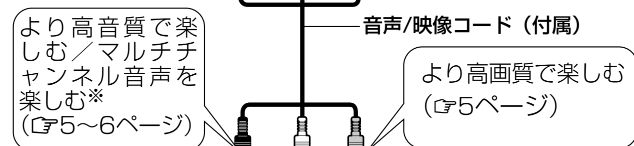
- 接続時は各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 各機器の説明書もご参照ください。

お願い
本機とテレビの間に、ビデオやセレクターを経由させて接続しないでください。（ビデオ内蔵テレビと接続するときは、ビデオ側でなく、テレビ側の入力端子に接続してください。）

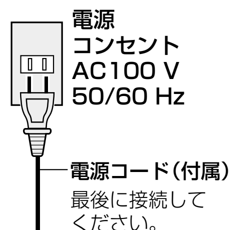


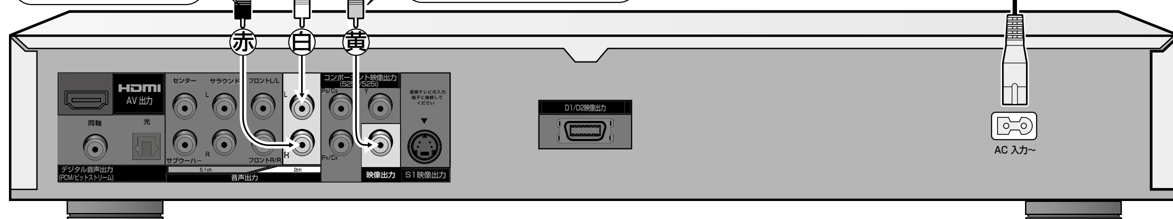
テレビ背面





長期間使用しないときは
節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
電源を切った状態でも、約1Wの電力を消費しています。





本機背面

※アンプやミニコンポの2チャンネル音声入力端子と接続し、2チャンネル音声を楽しむこともできます。

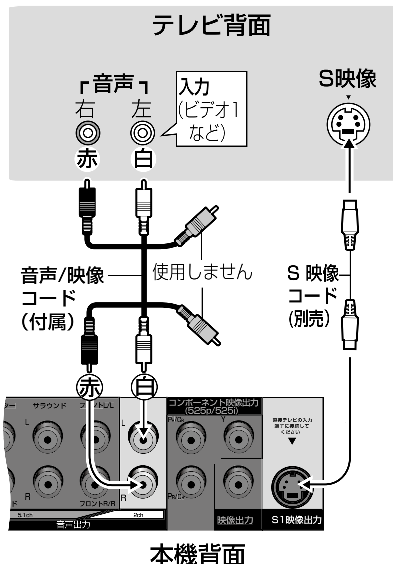
準備2 接続（つづき）

（別売品 ☞25ページ）

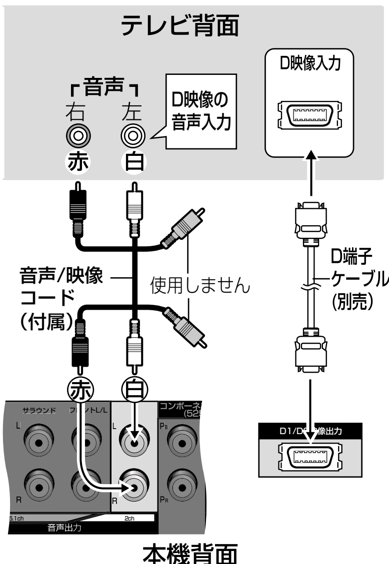
より高画質で楽しむ

プログレッシブ（☞20ページ）映像を楽しむには、プログレッシブ対応テレビと、「D1/D2映像」または「コンポーネント映像」端子を使って接続した後、“HDMI映像優先モード”（☞18ページ、“HDMI” メニュー）を “切” に設定し、“ビデオ出力モード” を “525p” にする。（☞15ページ、画質メニュー）

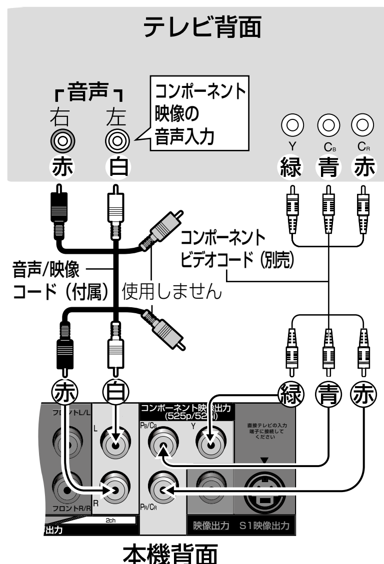
S1映像端子



D1/D2映像端子



コンポーネント映像端子



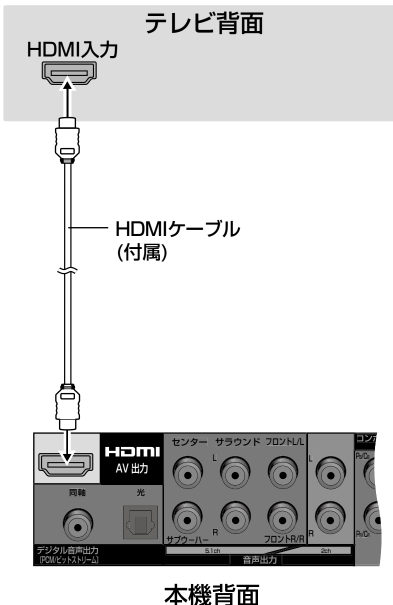
より高画質・高音質で楽しむ（HDMI接続）

HDMI（☞20ページ）対応のハイビジョンテレビと接続すると、ハイビジョン映像（750p、1125i）に変換して出力できます。また、HDMI対応マルチチャンネルアンプと接続すると、デジタルマルチチャンネル音声が楽しめます。

HDMI対応テレビ

デジタルハイビジョン映像・高音質音声を1本のケーブルで楽しめます。

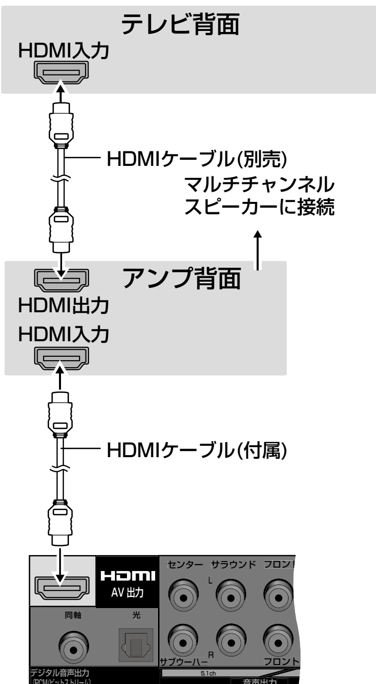
- 他の音声端子でアンプと接続すると、マルチチャンネル音声も楽しめます。（☞6ページ）



以下の設定をしてください。（☞18ページ）
－ “HDMI映像優先モード”： “入”
－ “HDMI音声出力”： “入”

HDMI対応テレビ/アンプ

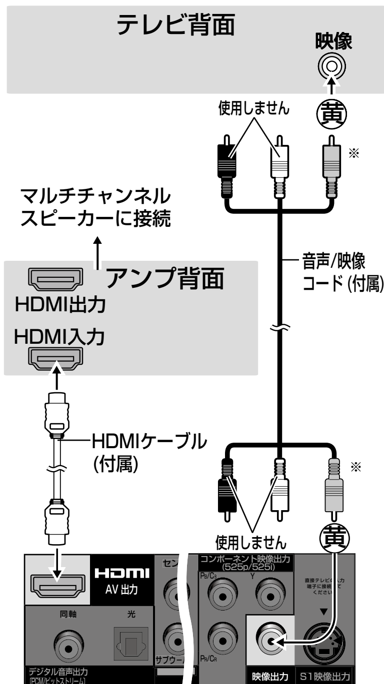
デジタルハイビジョン映像に加え、デジタルマルチチャンネル音声を楽しめます。



以下の設定をしてください。（☞18ページ）
－ “HDMI映像優先モード”： “入”
－ “HDMI音声出力”： “入”

HDMI対応アンプ

HDMI非対応テレビでも、マルチチャンネル音声をHDMIで楽しむことができます。



以下の設定をしてください。（☞18ページ）
－ “HDMI映像優先モード”： “切”
－ “HDMI音声出力”： “入”
※「S1映像」「D1/D2映像」「コンポーネント映像」 端子も使用できます。（☞上記）

- ハイビジョン映像を楽しむには、HDMI対応のハイビジョンテレビと接続し、“ビデオ出力モード”（☞15ページ、画質メニュー）を設定してください。
- 本機はHDMI Ver1.1（EDID Ver1.3、512 Byteまで）に対応しています。HDMIコントロール機能（CEC）には対応していません。
- CPPM（☞20ページ）非対応機器と接続すると、CPPMで著作権保護されたDVDオーディオの音声は “HDMI AV出力” 端子からは出力できません。音声/映像コードの音声コード（赤、白）をHDMIに対応した音声入力端子に接続してください。

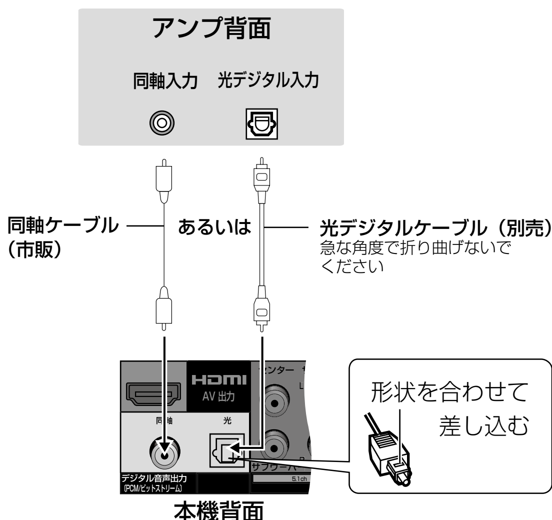
準備2　接続（つづき）

（別売品 ☞25ページ）

マルチチャンネル音声を楽しむ

“HDMI音声出力”（☞18ページ、“HDMI” メニュー）を”切”にしてください。

デジタル接続（デコーダー内蔵アンプと接続）



本機背面

DOLBY DIGITAL または、dts DIGITAL SURROUND ロゴの付いたアンプと接続し、“PCMデジタル出力”、“Dolby Digital”、“DTS Digital Surround”（☞18ページ、“音声” メニュー）を設定してください。

- DVDビデオに対応していないDTSデコーダーは使用できません。
- DVDオーディオは2チャンネルで出力されます。マルチチャンネル音声で楽しむには、アナログ接続（☞右記）、またはHDMI接続（☞5ページ）してください。

アナログ接続（5.1ch音声入力端子付アンプと接続）

アナログマルチチャンネル音声が楽しめます。デジタルマルチチャンネル音声を楽しむには、HDMI端子付アンプ（☞5ページ）と接続してください。

アンプ背面

センター　サブウーハー　サラウンド (L) (R)　フロント (L) (R)

音声コード（別売）

白　赤

本機背面

- “スピーカー設定” を設定してください。（☞18、19ページ）

準備3　クイックセットアップ

お買い上げ後初めて［初期設定］を押すと、基本的な設定を簡単に行える「クイックセットアップ」画面が表示されます。

準備　テレビの電源を入れて、外部入力（「ビデオ1」など）に切り換える。

1	2	3	4	5
DVD 電源	初期設定	▲▼◀▶ 決定　リターン 戻る	決定	初期設定
電源を入れる	**初期設定画面を表示する**	**［する］を選び画面の指示に従って設定する**	**クイックセットアップを終了する**	**初期設定画面を消す**

設定しなおすには

“その他” メニューで“クイックセットアップ” を選んでください。（☞18ページ）

準備4　テレビを操作する

テレビのメーカー番号を設定すると、本機のリモコンで各社テレビの基本操作ができます。

テレビを操作する

リモコンをテレビに向け、

テレビ［電源］を押しながら、メーカー番号（2ケタ）を押す（右表参照）

- ［テレビ 電源］を押して入／切などが働くか確認してください。

メーカー名	番号	メーカー名	番号
松下	01、10	パイオニア	13
	22、23	ビクター	14
アイワ	18	日立	05、20
三洋	07、16	富士通ゼネラル	09
シャープ	02、11、21	フナイ	19
ソニー	03、17	三菱	08、12
東芝	04	NEC	06、15

- メーカー番号が複数あるときは、入力してみて操作可能な番号を選んでください。

再生できるディスク

RAM などは、本書内の表示です。

DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	RAM	DVDビデオレコーダー、DVDビデオカメラ、パソコンなどビデオレコーディング規格Ver.1.1（ビデオ録画のための統一規格）で記録されたディスク	
		JPEG	DCF (Design rule for Camera File system)規格準拠のデジタルカメラで撮影したJPEGデータ	● RAM内のJPEG・MPEG4コンテンツを再生するには“その他のメニュー”で“データディスクとして再生”を選んでください（☞16ページ）
		MPEG4	当社製SDマルチカメラで撮影及び当社製DVDビデオレコーダーで記録されたMPEG4データ［SD VIDEO準拠（ASF形式）／映像：MPEG4 (Simple Profile) 準拠／音声：G.726準拠］	
DVD オーディオ	DVD AUDIO	DVD-A	–	
		DVD-V	DVDオーディオの中のDVDビデオコンテンツを再生するには“その他のメニュー”で“DVD-Videoとして再生”を選んでください（☞16ページ）	
DVDビデオ	DVD VIDEO / DVD VIDEO	DVD-V	–	
DVD-R	DVD R R4.7		当社製品にて録画・ファイナライズ※した当社製DVD-RをDVDビデオとして再生できます。	
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / COMPACT disc SUPER VIDEO	VCD	SVCD（IEC62107規格準拠）を含む	
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	CD	本機はHDCD（☞20ページ）を再生できますが、ピークエクステンション機能（高レベル信号のダイナミックレンジ拡張機能）には対応していません。 ● HDCD再生中は、表示窓に“HDCD”が点灯します。	
CD-R CD-RW	–	CD VCD WMA MP3 JPEG MPEG4	CD-DA、ビデオCD、WMA、MP3、JPEG、MPEG4のいずれかのフォーマットで記録し、記録終了時にセッションクローズまたはファイナライズ※した音楽用CD-R/CD-RW ● HighMAT規格に準拠して記録されたWMA・MP3・JPEGも再生できます。（HighMAT機能を使わずに再生するには、“その他のメニュー”で“データディスクとして再生”を選んでください（☞16ページ） ● WMA 本機はマルチプルビットレート（一つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式）の再生には対応していません。	

※録音・録画されたCD-R/CD-RW、DVD-Rを再生対応機で再生できるように処理すること。

● 使用するディスクや記録状態により再生できない場合があります。

本機はドルビーデジタル／DTSの5.1チャンネルデコーダーを内蔵しているので、右記ロゴのついたディスクを再生できます。



再生できないディスク

DVD-RW

・PAL方式で記録されたディスク（DVDオーディオは再生できますが、静止画が引き伸ばされて表示されることがあります。）
・DVD-RAM（2.6GB/5.2GB、TYPE1）
・ファイナライズされていないDVD-R
・DVD-ROM ・DVD-RW ・DVD+R ・+RW
・CD-ROM ・CD-G ・SACD ・Photo-CD ・CDV
・Chaoji VCD（超級と呼ばれる市販の SVCD、CVD、DVCD）など

HighMAT™、HighMATロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。



DVDオーディオについて

マルチチャンネルのDVDオーディオには、制作者の意図によりダウンミックス（☞20ページ）が禁止されているものがあります。ダウンミックスが禁止された曲は、チャンネル数と同じ本数のスピーカーが接続されていなければ、正常に再生できません（音声の一部が欠ける、マルチチャンネルの音声が選択できず、同時に収録されている2チャンネル音声が再生されるなど）。詳しくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。



❶電源を入れる
POWER ⏻/I

❷トレイを開ける
⏏OPEN/CLOSE

(☞9ページ)
AV ENHANCER

停止　一時停止
■　❚❚

❸ディスクを入れる
両面ディスクでは、再生したいラベルを上に。
DVD-RAMはカートリッジから取り出してください。

❹再生を始める
►

押すと
　スキップ
押したままにすると
　早送り・早戻し（再生中）
　スロー再生（一時停止中）
⏮/◀◀　▶▶/⏭

停止	停止 ■	"▷"点滅中に［▶］（再生）を押すと、停止位置から再生。 ● DVD-V メッセージ表示中に［▶］（再生）を押すと、停止位置までのあらすじを再生(あらすじリプレイ ☞10ページ) ● "▷"点滅中に［■］（停止）を押すと、停止位置の記憶は解除。
一時停止	一時停止 ❚❚	●［▶］（再生）で通常再生に戻る。
スキップ	スキップ ⏮ ⏭	項目を飛び越す。 ● RAM マーカーにもスキップします。［☞14ページ、マーカー(VR)］
グループスキップ	▲ ▼	WMA MP3 JPEG MPEG4 グループを飛び越す。 ● 一時停止中は働きません。
早送り・早戻し（再生中） スロー再生（一時停止中）	スロー/サーチ ◀◀ ▶▶	● 5段階で速くなります。 ●［▶］（再生）で通常再生に戻る。 ● VCD スロー再生：［▶▶］のみ ● MPEG4 スロー再生：働きません。
コマ送り・コマ戻し（一時停止中）	◀ ▶	RAM DVD-V VCD ● VCD ［▶］のみ
メニュー操作	▲ ◀ 決定 ▶ ▼	選択 決定

番号入力	①〜⑨ ⓪ ≧10 決定	RAM DVD-A DVD-V VCD CD 例）12：[≧10] ➜ [1] ➜ [2] WMA MP3 JPEG MPEG4 例）123：[1] ➜ [2] ➜ [3] ➜ [決定] ●入力しなおすときは、[取消し]を押す	
メニュー画面	プログラムナビ／トップメニュー	トップメニュー	DVD-A DVD-V
		プログラムナビ再生	RAM (☞13ページ)
	プレイリスト／メニュー	メニュー	DVD-V
		プレイリスト再生	RAM (☞13ページ)
	リターン 戻る	VCD（プレイバックコントロール付き）	
前の画面に戻る	リターン 戻る		
本体表示	表示窓切換	番号表示 ↑↓ 経過時間表示	
画面情報	字幕	字幕の切り換え（☞10ページ） RAM (字幕の入／切のみ) DVD-V VCD (SVCDのみ) 文字情報の切り換え WMA MP3 JPEG MPEG4 CD (CDテキストのみ)	

● メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。再生しないときは［■］を押して再生を停止してください。
● DVD再生時は、テレビ放送に比べて音量が小さく感じられます。再生時にテレビの音量を上げた場合は、テレビ放送に切り換える前に必ず元の音量に戻してください。突然大きな音が出ることがあります。
● 再生中、表示窓に"D.MIX"が点灯した場合は、3チャンネル以上のディスクを2チャンネルにダウンミックス(☞20ページ)できます。

困ったときは、「故障かな！？」(☞22〜24ページ）をご覧ください。

より高画質・高音質で楽しむ

映像と音声におすすめの効果を加える（AVエンハンサー）

AV ENHANCER [AVエンハンサー]（本体）

再生中のディスクを判別し自動で映像と音声におすすめの効果を加えます。

[AVエンハンサー] を押して切り換える

メニュー
AVエンハンサー　オート

切	切
オート	再生中コンテンツに応じた効果を加えます
ユーザー1※	お買い上げ時は動画（DVD-V）用のおすすめ設定
ユーザー2※	お買い上げ時は音楽用のおすすめ設定
ユーザー3※	お買い上げ時は動画（RAM）用のおすすめ設定

※“ユーザー1～3”はお好みに応じて設定を変更できます。
（☞16ページ、その他のメニュー“AVエンハンサー”）

- “オート”設定時は、下記の画質・音声効果は自動で設定され、個別に設定を変えることができません。

画質：ピクチャーモード（☞15ページ）
コントラスト／ブライトネス／シャープネス／カラー（☞下記）
ガンマ／デプスエンハンサー（☞15ページ）
MPEG DNR／3次元 NR（☞11ページ）
音声：ドルビープロロジックⅡ／アドバンスドサラウンド／シネマボイス（☞15ページ）／マルチ リ.マスター（☞右記）

画質の調整

コントラスト　ブライトネス　シャープネス　カラー

コントラスト

映像の白い部分と黒い部分に強弱をつけます。

コントラスト ◀ 0 ▶

1 [コントラスト] を押す

2 [◀▶] で設定値（−7～+7）を決める

ブライトネス

画面の明るさを調節します。

1 [ブライトネス] を押す

2 [◀▶] で設定値（0～+15）を決める

シャープネス

水平方向の解像度を調節します。

1 [シャープネス] を押す

2 [◀▶] で設定値（−7～+7）を決める

カラー

色の濃さを調節します。

1 [カラー] を押す

2 [◀▶] で設定値（−7～+7）を決める

より高音質で聴く（オーディオオンリー）

音声のみ

映像信号の出力を止め、音声信号のみを出力することで高音質な音声が楽しめます。

再生中に [音声のみ] を押す

- 押すたびに「入」「切」になります。

- 電源を切ると「切」になります。
- 「入」時は“HDMI AV 出力”端子からの音声・映像出力はできません。
- 以下の場合、映像を出力することがあります。
  —停止中
  —サーチなどの操作中
  —GUI表示中
  —メニュー画面表示中

より自然な音質で聴く（マルチ リ.マスター）

マルチ リ.マスター

RAM DVD-V（48 kHzで記録されたディスク）
DVD-A（44.1 kHzまたは48 kHzで記録されたディスク）
VCD CD
マルチチャンネル再生時は記録時に失われた周波数信号を再現し、記録前の音声に近づけます。
2チャンネル再生時にはディスクに記録されていない高い周波数信号を付け加えることで、より自然で豊かな音質が楽しめます。

WMA MP3（8 kHz、16 kHz、32 kHz以外で記録されたディスク）
圧縮時に失われた高い周波数信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

[マルチ リ.マスター] を押して切り換える

メニュー
マルチリ.マスター1
切
✓1　96kHz — サンプリング周波数
2
3
レベル　0 dB — レベル調節

設定	DVD-A DVD-V CD (LPCM/PPCM)	その他のディスク
	音源に適した設定を選択	効果の強弱を選択
切	切	切
1	テンポの速い曲（ポップス・ロックなど）	弱
2	さまざまなテンポの曲（ジャズなど）	中
3	テンポの遅い曲（クラシックなど）	強

設定1、2、3のリ.マスターレベルを調節するには

DVD-A DVD-V CD (LPCM/PPCM)

[◀▶] で設定値（−6～+6 dB）を決める

- “デジタル音声出力”または、“HDMI AV出力”端子から音声出力時は、接続している機器が対応していない周波数信号は付け加えることができません。

AVエンハンサー、マルチ リ.マスターはディスクや記録状態により働かない場合があります。

再生速度 早見／早聞き再生・遅見／遅聞き再生

RAM DVD-V
映画のセリフなどを、早聞きしたり、遅く再生してしっかり聞き取りたいときに、再生速度を微調節できます。

再生中に
[∧,∨ 再生速度］を押す
×0.6 ↔ ×1.4（0.1ずつ）

例：RAM
DVD-VR
×0.9 ▶

- [▶]（再生）を押すと、通常再生に戻ります。
- 速度調節中は
  - マルチ リ.マスター（☞9ページ）、ドルビープロロジックⅡ／アドバンスドサラウンド（☞15ページ、音声メニュー）は働きません。
  - デジタル出力が、PCMになります。
  - 音声は2チャンネルになります。
  - サンプリング周波数が 96 kHz の場合、 48 kHz になります。
- ディスクによっては働かない箇所があります。

ポジションメモリー 記憶させた位置から再生（ポジションメモリー機能）

経過時間表示の出るディスクのみ（☞8ページ、本体表示）
JPEG 全てに働きます。

再生中に［ポジションメモリー］を押す

位置を記憶しました

もう一度押すと上書きされます。

電源「切」、「入」またはディスクを入れ直した後、
[▶]（再生）を押すと、記憶した位置から再生が始まります。
(この時点で記憶は消去されます。)

- ディスク5枚分まで記憶できます。6枚目以降は、一番古い記憶から順に消去されます。
- ディスクによっては記憶できない箇所もあります。

あらすじリプレイ DVD-V（同一タイトル内のみ）

右の画面表示中に[▶]（再生）を押すと、記憶した位置までの各チャプターの冒頭を再生した後、その位置から再生が始まります。

再生ボタンを押すと、あらすじリプレイになります。

- 放置しておくと、画面表示が消え、記憶した位置から再生が始まります。

ポジションメモリー機能を解除する

“▷”点滅中に［■］（停止）を押す。

クイックリプレイ 見のがしたシーンをすぐ再生（クイックリプレイ）

経過時間表示の出るディスクのみ（☞8ページ、本体表示）
MPEG4：働きません。

再生中に［クイックリプレイ］を押す
数秒前に戻り、再生を続けます。



- ディスクまたは再生箇所によっては、戻る秒数が変わったり、機能が働かないこともあります。

グループ グループを選んで再生

DVD-A WMA MP3 JPEG MPEG4
WMA、MP3、JPEG、MPEG4ディスク内のフォルダは“グループ”として扱います。

1 **停止中に[グループ]を押す**
2 **[▲▼]でグループ番号を選び、[決定]を押す**
- リモコンの数字ボタンでも選べます（☞ 8ページ、番号入力）

メニュー
グループサーチ 1

- DVD-A すべてのグループを再生する（☞11ページ、オールグループ再生）

アングル/ページ アングルの切り換え

DVD-V（アングルが複数記録されているディスク）

再生中に[アングル/ページ]を押して切り換える

アングル/ページ 画像の回転

JPEG

再生中に[アングル/ページ]を押して切り換える

- 回転は、電源「切」、トレイの開閉で取り消されます。

アングル/ページ 静止画の切り換え

DVD-A

再生中に[アングル/ページ]を押して切り換える

字幕 字幕の切り換え

DVD-V（字幕が記録されているディスク）
VCD（SVCDのみ）

［字幕］を押して切り換える
- 字幕の入/切は［◀▶］を押す

メニュー
字幕 ‹入›

RAM（字幕の入／切情報を含むディスクの入／切のみ）

［字幕］を押して、入/切する
当社製DVDレコーダーは字幕の入／切情報を記録できません。（当社製 DVD レコーダーでファイナライズした当社製DVD-Rも字幕の入／切情報は記録されません。）

音声の切り換え

音声

DVD-A DVD-V（音声が複数記録されているディスク）RAM VCD

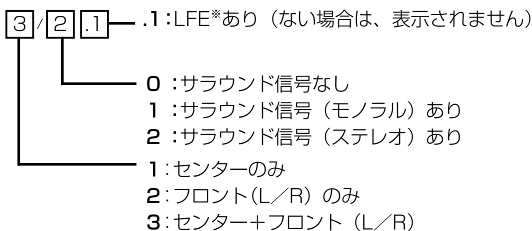
[音声] を押して切り換える



- RAM VCD "L"（左）、"R"（右）、"LR"（左右）のいずれかを選べます。
- DVD-V カラオケディスクでは、[◀▶]でボーカルの入／切ができます。
  詳しくはディスクのジャケットなどをご覧ください。

音声属性の表示

LPCM/PPCM/ﾛﾛ Digital/DTS/MPEG：信号タイプ
kHz：サンプリング周波数
bit：ビット数
ch：チャンネル数
GUI画面では以下のように示されます。



※Low Frequency Effects（ロー フリケンシー エフェクツ）の略。低域強調チャンネルのこと。

画面上のノイズを取りのぞく（ノイズリダクション）

ノイズリダクション

MPEG DNR：動画にみられるモザイク状のノイズや、周囲とのコントラストがはっきりした部分に現れるもやのようなノイズを除去します。
3次元 NR　：画面全体のノイズを除去します。

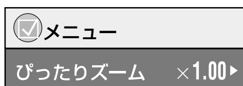
1 [ノイズリダクション]を押して切り換える
2 [◀▶]で設定値（MPEG DNR：0～+3、3次元 NR：0～+4)を決める

映像を拡大する（ズーム）

ズーム

RAM DVD-V VCD MPEG4
いろいろな横縦比の映像を拡大して、お使いのテレビ画面サイズに近づけます。

[ズーム] を押して切り換える（ぴったりズーム）



RAM DVD-V VCD
オート ⟶ 4:3 標準 ⟶ ヨーロピアンビスタ ⟶ 16:9 標準
↑　　　　　　　　　　　　　　　　↓
シネマスコープ2 ⟵ シネマスコープ1 ⟵ アメリカンビスタ

MPEG4
スタンダード ⟶ オリジナル
↑――フル ⟵――┘

ズーム倍率を微調整する（任意ズーム）

画面表示中に[◀▶] を押す

1.00倍～1.60倍：0.01倍刻み（押したままにすると0.05倍刻み）
1.60倍～2.00倍：0.02倍刻み（押したままにすると0.10倍刻み）
MPEG4 のみ
2.00倍～4.00倍：0.05倍刻み（押したままにすると0.25倍刻み）
接続するテレビや設定によっては、4.00倍まで拡大できないことがあります。

再生の種類を切り換える

オールグループ/プログラム/ランダム再生

再生モード

DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3 JPEG MPEG4

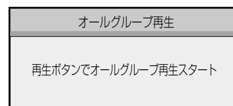
停止中に [再生モード] を押して切り換える

オールグループ再生（DVD-A）→ プログラム再生→ ランダム再生
↑―――――― 通常再生 ←――――――┘

- HighMAT CDをプログラム／ランダム再生するには、"その他のメニュー"で"データディスクとして再生"を選んでください。（☞16ページ）

すべてのグループを順に再生（オールグループ再生）DVD-A

[▶]（再生）を押す



好みの順に再生（プログラム再生）（最大32項目）

1 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⓪≧10 **押して項目を選ぶ（☞8ページ、番号入力）**
続けて選ぶときは、この操作を繰り返してください。

例：DVD-V



- 次のページを見るには [アングル／ページ]を押す。

2 **[▶]（再生）を押す**

すべての項目を選ぶ（ディスクまたはタイトル、グループ内の全項目）
[決定]を押したあと、[▲▼]で"ALL"を選び、[決定]を押す

予約を変更／追加する
[▲▼]で変更したい項目を選び、手順１を行う

予約を取り消す
[▲▼]で取り消したい項目を選び、[取消し]を押す
（[▲▼◀▶] で"クリア"を選び、[決定]を押しても取り消せます。）

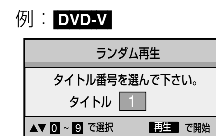
予約を全て取り消す
[▲▼◀▶] で"オールクリア"を選び、[決定]を押す
（電源「切」、トレイの開閉でも取り消されます。）

順不同に再生（ランダム再生）

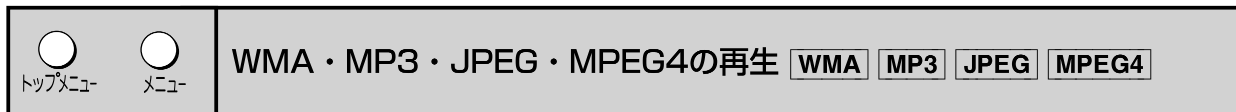
1 DVD-A DVD-V WMA MP3 JPEG MPEG4

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⓪≧10 **押して項目を選ぶ（☞8ページ、番号入力）**

例：DVD-V



2 **[▶]（再生）を押す**



WMA・MP3・JPEG・MPEG4の再生 WMA MP3 JPEG MPEG4

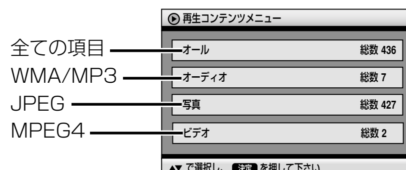
RAM内のJPEGコンテンツ、MPEG4コンテンツを再生したり、HighMAT規格で記録されたディスクをHighMAT機能を使わずに再生できます。
“その他のメニュー”で“データディスクとして再生”を選んでください。（☞16ページ）

項目を順番に再生する（再生コンテンツメニュー）

メニュー画面表示中

[▲▼]で“オール”、“オーディオ”“写真”または“ビデオ”を選び[決定]を押す

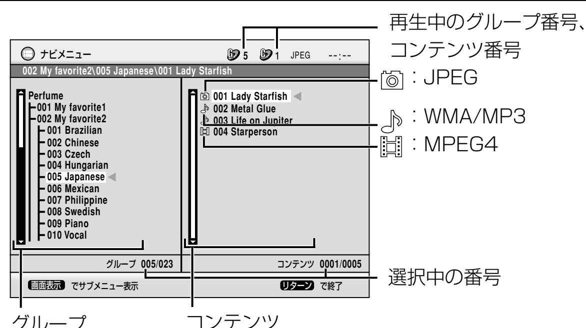
全ての項目
WMA/MP3
JPEG
MPEG4



- 画面の入/切は、[トップメニュー]を押す。

項目を選んで再生する（ナビメニュー）

1 **[メニュー]を押す**
2 **[▲▼◀▶]でグループを選び、[決定]を押す**
3 **●グループ内のコンテンツを順番に再生するには [決定]を押す**
●コンテンツを選んで再生するには [▲▼◀▶]でコンテンツを選び、[決定]を押す



- 次のページを見るには[アングル／ページ]を押す。
- **JPEG画像を見ながら、WMA/MP3を楽しむには、**JPEGコンテンツを選択した後、WMA/MP3コンテンツを選ぶ。（逆の順序では、できません。）
- 画面を消すには、[メニュー]を押す。

■サブメニューを使う

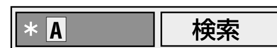
1 **[メニュー]を押す**
2 **[画面表示]を押す**
3 **[▲▼]で項目を選び、[決定]を押す**

✓マルチ	グループとコンテンツを同時に表示
リスト	コンテンツを表示
ツリー	グループを表示
サムネイル	サムネイル画面を表示 JPEG
次グループ	次のグループへ進む
前グループ	前のグループへ戻る
オール	全ての項目を表示
オーディオ	WMA／MP3コンテンツのみ表示
写真	JPEGコンテンツのみ表示
ビデオ	MPEG4コンテンツのみ表示
ヘルプ表示	画面指示とプログレスインジケーター（☞14ページ）の切り換え
検索	タイトルの検索（☞右記）

■タイトルを検索して再生

- ローマ字で入力すると、その語句を含むタイトルを検索します。（大／小文字は区別されません）
- グループ名を検索するときはナビメニュー画面内のカーソルを“グループ”側に、コンテンツ名を検索するときは“コンテンツ”側に置いてください。

1 **[メニュー]を押す**
2 **[画面表示]を押す**
3 **[▲▼]で“検索”を選び[決定]を押す**
4 **[▲▼]で文字を選び[決定]を押す**



- [◀◀▶▶]で「A、E、I、O、U」にスキップします。
- 確定した文字を変更するには[◀]を押して、文字を選び直す。
- 続けて入力するには手順4を繰り返す。
- 入力した文字で始まるタイトルを検索するには、[◀]で“*”を消してから手順4を行う。

5 **[▶]で“検索”を選び、[決定]を押す**
検索結果が画面に表示されます。
6 **[▲▼]でグループまたはコンテンツを選び、[決定]を押す**



CDの再生 CD

(CDテキストではタイトルも表示されます。)

1 [メニュー] を押す

2 [▲▼]で曲を選び、[決定]を押す

- 次のページを見るには [アングル／ページ] を押す。

- 画面を消すには [メニュー] を押す。

例：CDテキスト

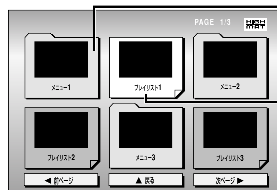




HighMAT™ CDの再生 WMA MP3 JPEG

メニュー画面表示中に

[▲▼◀▶] で内容を選び、[決定] を押す



メニュー：
このメニューに含まれるプレイリストやメニューを表示します。

プレイリスト：
再生が始まります。

- メニュー画面に戻るには、[トップメニュー]を押してから[リターン]を数回押す。
- ディスクに記録されたメニュー画面に切り換えるには、メニュー画面表示中に[画面表示]を押す。
- 画面の入／切は、[トップメニュー]を押す。

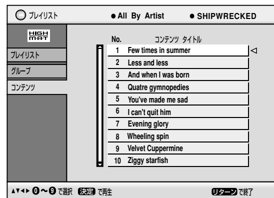
プレイリスト画面から選んで再生する

1 再生中に[メニュー]を押す

2 [◀]→[▲▼]でリストを切り換える

3 [▶]→[▲▼]で選び、[決定]を押す

- 次のページを見るには [アングル／ページ] を押す



- 画面を消すには、[メニュー]を押す。



RAMディスクの再生 RAM

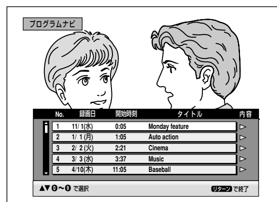
※本機では、タイトルやプレイリストの編集はできません。

番組を選んで再生（プログラムナビ再生）

1 [プログラムナビ] を押す

2 [▲▼] で番組を選び、[決定] を押す

- 次のページを見るには [アングル／ページ] を押す。
- リモコンの数字ボタンでも選べます（☞8ページ、番号入力）。



- [▶] を押すとプログラム内容を確認できます。

お好みのシーンを再生（プレイリスト再生）

※プレイリストが作成されたディスクのみ

1 [プレイリスト] を押す

2 [▲▼] でプレイリストを選ぶ

- 次のページを見るには [アングル／ページ] を押す。
- リモコンの数字ボタンでも選べます（☞8ページ、番号入力）。



プレイリストを再生

3 [決定] を押す

シーンを再生

3 [▶]を押す

4 [▲▼] で "シーン一覧" を選んで [決定] を押す

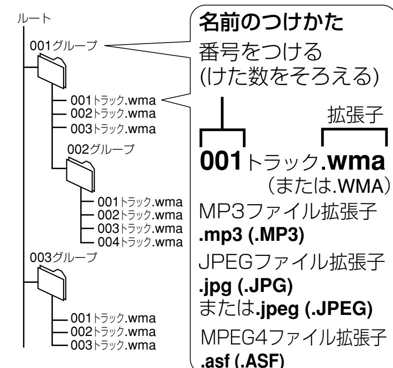
- "内容確認" を選ぶとプログラム内容を確認できます。

5 [▲▼◀▶] でシーンを選んで[決定]を押す

パソコン等でファイルを作るときは

（CD-R、CD-RWに記録した WMA MP3 JPEG MPEG4 ）

本機では、パソコン等で作成したフォルダ・ファイル名はそれぞれグループ名・コンテンツ名として表示されます。



本機での制限

使用できるフォーマット: ISO9660 level 1及びlevel 2（拡張フォーマットを除く）

- マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと、再生開始まで時間がかかることがあります。
- 8階層以降にあるグループは、メニュー画面の8階層目と同じ列に表示されます。
- 表示可能な漢字は、JIS第一水準のみです。それ以外の漢字は "_"（アンダーバー）で表示されます。
- メニュー画面とパソコンの画面では表示順が違うことがあります。
- ディスクの作り方によっては、再生順が変わることがあります。
- パケットライト方式で記録されたファイルは再生できません。

WMA

- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- マルチプルビットレートには対応していません。

MP3

- ID3タグには対応していません。
- 再生可能なサンプリング周波数：
  8、11.02、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz

JPEG

- DCF (Design rule for Camera File system) 規格Ver.1.0準拠のデジタルカメラで撮影したJPEGデータを表示します。
  - デジタルカメラの自動回転機能などを使用した場合、DCFの規格外となり、画像が表示されないことがあります。
  - パソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。
- MOTION JPEGなどの動画やJPEG以外の静止画（TIFFなど）および音声付画像は再生できません。

MPEG4

- 当社製SDマルチカメラで撮影及び当社製DVDビデオレコーダーで記録されたMPEG4データ[SD VIDEO準拠（ASF形式）／映像：MPEG4(Simple Profile)準拠／音声：G.726準拠] を再生することができます。

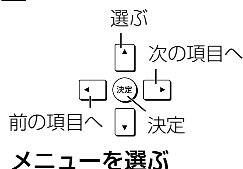
GUI画面

1



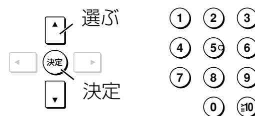
押す
（2回押すと、プログレスインジケーターが表示されます。）（☞下記）

2



メニューを選ぶ

3



内容を選ぶ

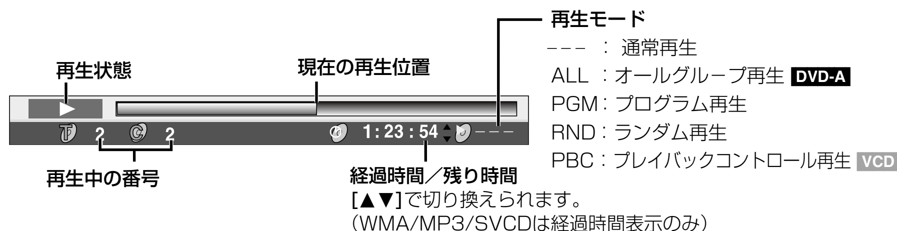
4



設定を終了する

■ 再生状況を確認（プログレスインジケーター）

経過時間表示の出るディスクのみ（☞8ページ、本体表示）



[▲▼]で切り換えられます。
（WMA/MP3/SVCDは経過時間表示のみ）

再生モード
－－－ ： 通常再生
ALL ：オールグループ再生 DVD-A
PGM：プログラム再生
RND：ランダム再生
PBC：プレイバックコントロール再生 VCD

表示される項目は、接続やディスクにより異なります。

メニュー

プログラム グループ タイトル チャプター トラック プレイリスト コンテンツ	項目を指定して再生
時間	時間を指定して飛びこす（再生専用タイムワープ） 1. [決定]を2回押して、タイムワープインジケーターを表示させる 2. [▲▼]を押して時間を選び、[決定]を押す •[▲▼]を押したままにすると速くなります。 時間指定再生（タイムサーチ） 例）1時間46分50秒から再生 [1] → [4] → [6] → [5] → [0] → [決定] 経過時間／残り時間表示切り換え

映像	画素数表示
音声	(☞11ページ) ビットレート／サンプリング周波数（☞20ページ）
静止画	静止画切り換え
サムネイル	サムネイル画面表示
字幕	(☞10ページ)
マーカー（VR）	DVDビデオレコーダーで付けたマークを呼び出す
アングル	(☞10ページ)
画像回転	
スライドショー	入 ⟷ 切 間隔を 0～30秒に変更できます。
その他の設定	(☞下記)

その他の設定

再生速度	(☞10ページ、早見／早聞き再生・遅見／遅聞き再生)

■ 再生メニュー

経過時間表示の出るディスクのみ。（☞8ページ、本体表示）
（ただし、JPEGのリピートとマーカーはできます。）

リピート	項目を選んで繰り返し再生
A-Bリピート	お好みの2点間を繰り返し再生（A-B リピート再生） 始点／終点で **[決定]** を押す。取り消すには、さらに **[決定]** を押す。 ● RAM（静止画部分）には働きません。

マーカー （RAM には働きません。）	お好みの位置を記憶（5個まで） **[決定]** を押してから下記の操作を行う。 **マークを付けるには** → **[決定]** を押す **他にマークを付けるには** → **[◀▶]**で“＊”を選び、**[決定]** を押す **マークを呼び出すには** → **[◀▶]**でマークを選び、**[決定]** を押す **マークを取り消すには** → **[◀▶]**でマークを選び、**[取消し]** を押す ● 本機で付けたマーカーは、電源「切」、トレイの開閉で取り消されます。 ● プログラム、ランダム再生中は働きません。

■ 画質メニュー

ピクチャーモード	**画質を選ぶ** **ノーマル**：通常画質 **シネマ1**：映画館で見ているようなしっとり感 **シネマ2**：昔の映画などをくっきり **アニメ**：アニメ向き **ダイナミック**：コントラストを強調した、躍動感あふれる映像 **ユーザー**：（☞下記、詳細画質設定）
	詳細画質設定（「ピクチャーモード」で“ユーザー”を選んだときのみ） **コントラスト**：（☞9ページ） **ブライトネス**：（☞9ページ） **シャープネス**：（☞9ページ） **カラー**：（☞9ページ） **ガンマ（0～+5）**：暗く見づらい部分の明るさを調整 **デプスエンハンサー（0～+4）**： 背景部分に現れるノイズを除去し、奥行感のある映像を楽しめます。 **MPEG DNR**：（☞11ページ、ノイズリダクション） **3次元NR**：（☞11ページ、ノイズリダクション）
ビデオ出力モード	**HDMI ケーブルで接続し、“HDMI 映像優先モード”（☞18ページ、“HDMI” メニュー）を “入” に設定時** 記録された映像をハイビジョン映像に変換して出力できます。接続した機器によって画質が異なります。お好みの画質を選んでください。 **525p（プログレッシブ）** **750p（プログレッシブ）** **1125i（インターレース）** ● 接続した機器が対応している項目には、画面上に“＊”が表示されます。“＊”のついていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、**[取消し]** を映像が正しく表示されるまで押したままにしてください。“525p” に設定が戻ります。 ● コンポーネント端子、D端子からは525iが出力されます。 **HDMIケーブルで接続し、“HDMI映像優先モード”（☞18ページ、“HDMI” メニュー）を “切” に設定時、または他の接続時** **525i（インターレース）⟷525p（プログレッシブ）** ● “525p” を選んで、確認画面が表示された場合は、プログレッシブ対応テレビに接続しているときのみ “はい” を選んでください。
変換モード	“ビデオ出力モード”（☞上記）で “525p”, “750p”, “1125i” を選んだときのみ **プログレッシブ映像・ハイビジョン映像の出力を選ぶ** **オート1**（標準）：24コマ／秒のフィルム素材を自動判別 **オート2**：オート1に加えて30コマ/秒のフィルム素材にも対応（ディスクの記録状態によってはブレが生じることがあります。） **ビデオ**：オート1またはオート2でブレが生じるとき

HDMI カラースペース	**HDMI ケーブルで接続し、“HDMI 映像優先モード”（☞18ページ、“HDMI” メニュー）を “入” に設定時** 接続した機器によって画質が異なります。お好みの画質を選んでください。 接続した機器が対応していない項目は表示されません。 RGB YCbCr（4：4：4） YCbCr（4：2：2） ● “RGB” を選んだときのみ “HDMI RGB出力レンジ”（☞18ページ、“HDMI” メニュー）の設定が有効になります。

■ 音声メニュー

ドルビープロロジックⅡ	**2チャンネルの音声が記録されたディクスに5チャンネル［フロント（L/R）、センター、サラウンド（L/R）］のサラウンド効果を加える** **切** **ムービー**：ドルビーサラウンドで記録されたDVDビデオなどの映画ソフト **ミュージック**：ステレオ音声で記録された音楽ソフト ●マルチチャンネル音声には働きません。 ● “HDMI AV 出力” 端子から音声出力時は働きません。
アドバンスドサラウンド	RAM DVD-V VCD（2ch以上のディスク） 2本のスピーカーで（ヘッドホン端子のある機器に接続している場合はヘッドホンでも）サラウンド効果が得られます。 **切** **SP**（スピーカー）**1 標準** **SP 2 強** **HP**（ヘッドホン）**1 標準** **HP 2 強** [距離A / テレビ / スピーカー / スピーカー / 距離Aの3～4倍 / 視聴位置] **効果的な視聴位置** テレビのスピーカーを使う場合 テレビの横幅=距離A ● サラウンド信号があるディスクの場合、横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。 ●接続した機器のサラウンド機能を「切」にしてください。 ●音声がひずむ場合、「切」にしてください。 ● 「入」時は、スピーカーを3本以上つないでいても、2チャンネルで出力されます。
シネマボイス	**映画のセリフを聞き取りやすくする** DVD-V（ドルビーデジタル、DTS、3チャンネル以上でセンターチャンネルにセリフが入っているディスク） **入 ⟷ 切**
マルチ リ.マスター	（☞9ページ）
デジタルフィルター	（“5.1ch”、“2ch” 音声出力端子から音声出力時）（☞4～6ページ） **ノーマル**：クリアな音質 **スロー**：柔らかく奥行き感のある音質
アッテネータ	（“5.1ch”、“2ch” 音声出力端子から音声出力時）（☞4～6ページ） **音声がひずむ場合「入」を選ぶ** **入 ⟷ 切**

その他の設定

■ 表示メニュー

情報表示	入 ←→ 切 JPEG MPEG4 切／日付／詳細
字幕位置	字幕位置を調整する、0〜−60（2ずつ）
字幕明るさ	オート（明るさを自動調節する）、0〜−7
4:3 アスペクト	16：9テレビへの4：3映像の表示のしかたを選ぶ ノーマル：テレビの画面幅に合わせて拡大 オート：通常は“シュリンク”に、レターボックスの映像は“ズーム”に、自動的に切り換え シュリンク：テレビ画面中央に4：3の画面比で映す ズーム：4：3の画面比で拡大
ぴったりズーム	(☞ 11ページ、ズーム)
任意ズーム	(☞ 11ページ、ズーム)
ビットレート表示	RAM DVD-V VCD MPEG4 入 ←→ 切
GUIシースルー	GUIメニューの背景を半透明にする 入 ←→ 切
GUI明るさ	−3〜+3
HDMI状態	“HDMI AV 出力”端子接続時の各情報を表示する (☞ 下記、HDMI情報を確認)

■ その他のメニュー

スリープ	オート※↔ 30分 ↔ 60分 ↔ 90分 ↔ 120分 ↑―――――→ 切 ←―――――↑ ※再生終了（DVDのメニュー画面表示も含む）5分後に電源が切れます。 –ディスクによっては働かないものもあります。 –ボタン操作で停止やメニュー画面を表示したときは働きません。再生を始めると再び有効になります。 ● “30分”〜“120分”に設定時は、残り時間が表示されます。
AVエンハンサー	**設定を記憶する** あらかじめ設定された画質・音声効果を“ユーザー1〜3”に記憶させることができます。（“オート”選択中は設定の記憶ができません。☞ 9ページ） 準備：下記の画質・音声効果をあらかじめ設定してください。 画質：ピクチャーモード（☞15ページ） コントラスト／ブライトネス シャープネス／カラー（☞ 9ページ） ガンマ／デプスエンハンサー （☞15ページ） MPEG DNR／3次元 NR(☞11ページ) 音声：ドルビープロロジックⅡ／ アドバンスドサラウンド／シネマボイス （☞15ページ） マルチ リ.マスター（☞9ページ） 1 “設定記憶”を選んで［決定］を押す 2 “ユーザー1〜3”から設定先を選んで［決定］を押す 3 画面上に表示される各設定を確認して“はい”を選んで［決定］を押す 記憶した設定を選択するには、（☞ 9ページ、AVエンハンサー） **設定した画質・音声効果を確認するには、** 1 “ユーザー1〜3”から確認する設定先を選んで［決定］を押す 2 “設定記憶”を選んで［決定］を2回押す 確認画面を消すには、 各設定を確認後、“いいえ”を選んで［決定］を押す
初期設定	(☞17ページ)
DVD-Videoとして再生 あるいは DVD-Audioとして再生	● DVDオーディオの中のDVDビデオコンテンツを再生するには、“DVD-Videoとして再生”を選ぶ
DVD-VRとして再生 HighMATとして再生 あるいは データディスクとして再生	● RAM内のJPEG、MPEG4コンテンツを再生したりHighMATディスクをHighMAT機能を使わずに再生したりするには、“データディスクとして再生”を選ぶ

■ HDMI情報を確認

接続状態

・HDMI状態ー 正常接続中です。

HDMI情報

音声ストリーム	PCM/Dolby Digital/DTS	☞11ページ、音声の切り換え
最大チャンネル数	6ch	接続機器の最大チャンネル数を表示
ビデオフォーマット	525p/750p/1125i	☞15ページ、ビデオ出力モード
カラースペース	YCbCr(4:4:4)/YCbCr(4:2:2)/RGB	☞15ページ、HDMIカラースペース

● 出力可能な項目が表示されます。
● “音声ストリーム”、“ビデオフォーマット”、“カラースペース” では、現在出力されている項目にアンダーラインが表示されます。
● “HDMI 音声出力”（18ページ、“HDMI” メニュー）が “切” に設定されているときは “音声ストリーム”、“最大チャンネル数” には “- - -” が表示されます。

初期設定

- 17～18ページの表をご覧になり、必要に応じて変更してください。
- 日本語 のようにアミのかかった項目は、お買い上げ時の設定です。
- 変更した設定は電源を切っても保持されます。

1 初期設定 押す

2 選ぶ 次の項目へ メニューを選ぶ

3 選ぶ 決定 項目を選ぶ

4 選ぶ 決定 内容を選ぶ

5 初期設定 設定を終了する

“ディスク”メニュー

項目	内容
音声言語	●日本語　●英語　●オリジナル（ディスクの最優先言語）　●その他＊＊＊＊※
字幕言語	●オート（“音声言語”で選んだ言語で再生されなかったとき、字幕でその言語を表示） ●日本語　●英語　●その他＊＊＊＊※
メニュー言語	●日本語　●英語　●その他＊＊＊＊※
視聴制限 DVDビデオの視聴が制限できます。	●レベル8：すべて再生可 ●レベル1～7：記録のレベルに応じて再生不可 ●レベル0：すべて再生不可 レベルを設定すると、暗証番号入力画面が表示されます。 画面の指示に従ってください。 **暗証番号は忘れないでください。** 視聴制限を超えるDVDビデオを入れると、画面上に表示が出ます。そのときは画面の指示に従ってください。

※リモコンの数字ボタンで言語番号（☞21ページ）を入力します。

“映像”メニュー

項目	内容
TVアスペクト テレビサイズに合わせた映像の表示方法が選べます。	●4：3パン&スキャン：標準テレビ 16：9の映像は左右の切れた映像で表示 （パン&スキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します。） ●4：3レターボックス：標準テレビ 16：9の映像は上下に帯のある映像で表示 ●16：9：ワイドテレビ 必要に応じてテレビ側の画面モードの設定を変えてください。
接続するTV テレビの種類に合わせて設定します。	●標準(ブラウン管テレビ) ●3管式プロジェクター　●液晶テレビ／プロジェクター ●プロジェクションテレビ　●プラズマテレビ
TVディレイ AVアンプとプラズマテレビを接続している場合、映像が音声より遅く感じるときに、タイミングを合わせることができます。	●0ms　●20ms　●40ms　●60ms　●80ms　●100ms
スチルモード 一時停止時の画像の表示方法が選べます。	●オート ●フィールド：画像のブレが発生するとき ●フレーム：小さい文字や細かい絵柄が見えにくいとき

“音声”メニュー

項目	内容
PCMデジタル出力 （“デジタル音声出力”端子から音声出力時のみ☞6ページ） 接続機器が対応しているサンプリング周波数に合わせて選びます。	●**切**：アナログ接続時 ●**最高48kHz**：48 kHzまたは44.1 kHzまで対応 ●**最高96kHz**：96 kHzまたは88.2 kHzまで対応 ●**最高192kHz**：192 kHzまたは176.4 kHzまで対応 ディスクが著作権保護されているときは、48 kHzまたは44.1 kHzに変換します。 96 kHzに対応している接続機器でも、88.2 kHzに対応していないことがあります。（詳細は接続機器の説明書をご参照ください。）
Dolby Digital※ （“デジタル音声出力”端子、“HDMI AV 出力”端子から音声出力時のみ☞5、6ページ）	●Bitstream：右記ロゴのある機器と接続するとき ●PCM：右記ロゴのない機器と接続するとき DOLBY DIGITAL
DTS Digital Surround※ （“デジタル音声出力”端子、“HDMI AV 出力”端子から音声出力時のみ☞5、6ページ）	●Bitstream：右記ロゴのある機器と接続するとき ●PCM：右記ロゴのない機器と接続するとき DIGITAL dts SURROUND
音声のダイナミックレンジ圧縮 （ドルビーデジタルのみ） 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	●入　●切
早送り時の音声 早送りするとき、音声のあり/なしが選べます。	●入　●切
スピーカー設定 スピーカーの出力設定により、理想的な音空間をつくります。	**接続するスピーカー** ●**マルチチャンネル**：スピーカーを3本以上接続 ●**2チャンネル**：スピーカーを2本接続 ●**マルチチャンネル設定**：“マルチチャンネル”を選んだときのみ表示されます。スピーカーの有無とサイズ、ディレイタイム、出力バランスの設定をしてください。（☞19ページ）

※“HDMI AV 出力”端子から音声出力時に接続機器が対応していない項目が選ばれていると、接続機器の性能により設定通りに出力されない場合があります。

“HDMI”メニュー

項目	内容
HDMI RGB出力レンジ HDMIカラースペース（☞15ページ、画質メニュー）で“RGB”を選んだときのみ設定が有効になります。	●**スタンダード** ●**エンハンス**：映像の黒白が鮮明でないとき
HDMI 映像優先モード	●**入**：“HDMI AV 出力”端子から映像を出力するとき ●**切**：“D映像”または“コンポーネント映像”端子から映像を出力するとき（“HDMI AV 出力”端子からは525pを出力）
HDMI 音声出力	●**入**：“HDMI AV 出力”端子から音声を出力するとき ●**切**：“HDMI AV 出力”端子から音声を出力しないとき

“画面表示”メニュー

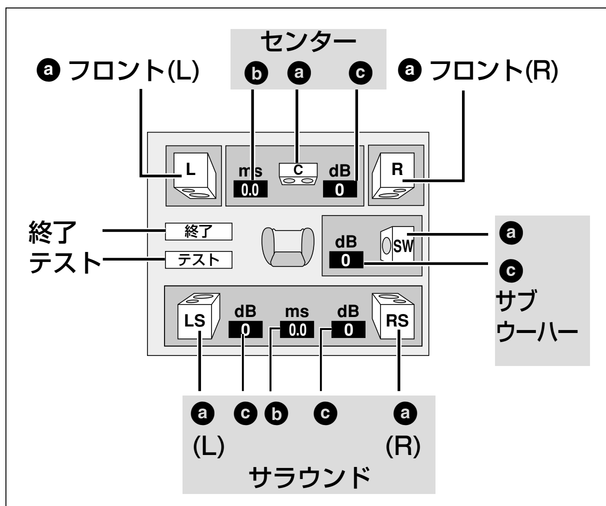
項目	内容
画面メニュー言語 初期設定画面、操作画面の言語を選びます。	●日本語　●English（英語）
画面メッセージ 画面メッセージを表示する、しないを選びます。	●入　●切
再生時の背景色 JPEG・MPEG4再生時の背景色を選びます。	●**ブラック** ●**グレー**

“その他”メニュー

項目	内容
表示窓ディマー 本体表示窓の明るさを調節します。	●**明**　●**暗** ●**オート**：再生中は暗くなり、サーチや一時停止中などは一時的に明るくなります。
オートパワーオフ 節電のため、操作しないときに自動的に電源を切る設定をします。	●**入**：スリープ（☞16ページ）の設定に関係なく、停止状態で30分経過すると電源が切れます。 ●**切**
クイックセットアップ 本機の基本的な設定を、画面上での対話形式で行います。	●**する**：以下の設定を行います。 画面メニュー言語／接続するTV／TVアスペクト／スピーカー設定／PCMデジタル出力 • クイックセットアップで“画面メニュー言語”を変えると、“メニュー言語”（☞17ページ）も変わります。 ●**しない**
設定の初期化 本機をお買い上げ時の状態に戻します。	●**する**：視聴制限（☞17ページ）を設定しているときは、暗証番号を入力してください。 本体表示窓の“INIT”表示が消えてから、電源を入れ直してください。 ●**しない**

スピーカー設定

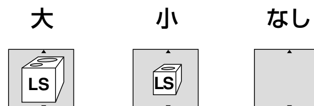
初期設定で"マルチチャンネル"（スピーカーを3本以上接続）を選んだとき、接続したスピーカーに応じて、以下のⓐの設定が必要になります。（必要に応じてⓑⓒの設定もしてください。）



スピーカーの有無とサイズ（ⓐ）

1 [▲▼◀▶]で項目を選び、[決定]を押す
2 [▲▼]で内容を変更し、[決定]を押す

サラウンド（L）の場合の表示例

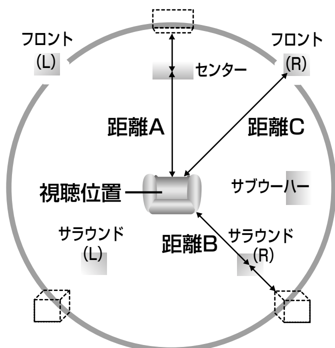


スピーカーが100 Hz以下を
- 再生できるとき　：大
- 再生できないとき　：小

サブウーハーを「なし」にすると、フロントスピーカーは自動的に「大」になります。（この場合、100 Hz以下の低音を再生できるフロントスピーカーを接続することをおすすめします。）

ディレイタイム（ⓑ）

5.1ch音声を楽しむには、すべてのスピーカー（サブウーハーは除く）を下記のように円上に置くのが理想的です。置けない場合は、ディレイタイムの設定をすると音声出力に遅延効果を与え、仮想的に理想の視聴位置を実現します。



1 [▲▼◀▶]で項目を選び、[決定]を押す
2 [▲▼]で内容を変更し、[決定]を押す

- **設定値**
  距離A/距離B ≧ 距離C：0.0 ms
  距離A/距離B ＜ 距離C：下記の設定を行う

＜センター＞

距離(AとC)の差	設定値
約　34 cm	1.0 ms
約　68 cm	2.0 ms
約102 cm	3.0 ms
約136 cm	4.0 ms
約170 cm	5.0 ms

＜サラウンド＞

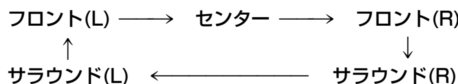
距離(BとC)の差	設定値
約170 cm	5.0 ms
約340 cm	10.0 ms
約510 cm	15.0 ms

出力バランス（ⓒ）

HDMI ケーブルで接続し、"HDMI 音声出力"（☞18ページ、"HDMI" メニュー）を "入" に設定時は働きません。

各スピーカーの音量レベルが異なるとき調節します。

1 **[▲▼◀▶]で"テスト"を選び、[決定]を押す**
「ザー」というテスト音が以下の順でスピーカーから出力されます。



2 **[▲▼]でセンター/サラウンドの音量をフロントスピーカーと同じ音量で聞こえるように調節する**（−6 dB〜+6 dB）
- フロントスピーカーの音量調節はできません。
- サブウーハーからはテスト音が出力されません。ディスクを再生し、音量を確認してから調節してください。

3 **[決定]を押す**
テスト音が止まります。

■ 設定を終了する

[▲▼◀▶]で "終了" を選び、[決定]を押す。

用語解説

コンポーネント映像出力

S映像よりもさらに鮮明な映像（D端子出力映像と同等）を得ることができます。また、本端子はプログレッシブ映像出力（525p）にも対応しているため、525i信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。テレビやモニターなどにより入力端子の表示が異なる（Y/PB/PR、Y/B-Y/R-Y、Y/CB/CRなど）場合がありますので、そちらの説明書もご覧ください。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定の時間間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。１秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくできます。

ダウンミックス

ディスクに収録されたマルチチャンネル（サラウンド）の音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。
DVDオーディオには､ダウンミックスが禁止されたディスクがあります。ダウンミックスが禁止された曲は、チャンネル数と同じ本数のスピーカーが接続されていなければ、正常に再生できません。

デコーダー

DVDなどに圧縮して記録した音声データを､通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ビットレート

1秒間に記録・伝送するビット（情報量の最小単位）の総数のことです。デジタル信号を送るスピード、量を決めるもので、数値が大きいほど音質や画質が良くなります。

フィルム素材／ビデオ素材

一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ／秒または30コマ／秒で記録されているもの。（映画撮影のフィルムは、24コマ／秒で記録されています。）
- **ビデオ素材**
  映像情報が60フィールド／秒で記録されているもの。

プレイバックコントロール（PBC）

ビデオCDを再生する方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。

フレーム／フィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。



- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

プログレッシブ/インターレース

従来の映像信号（NTSC）は525i（i：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、その525i信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p（p：プログレッシブ＝順次走査）といいます。
プログレッシブではDVDソフト本来の高精細映像を再現できます。
また、HDMI AV 出力端子はハイビジョン映像出力（750p、1125i）にも対応しています。
プログレッシブ映像、ハイビジョン映像を楽しむには、それぞれ対応テレビが必要です。

Bitstream（ビットストリーム）

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。AVアンプなどに搭載されたデコーダーにより、5.1チャンネルなどのマルチチャンネル音声信号に戻されます。

CPPM（Content Protection for Prerecorded Media）（コンテント プロテクション フォー プリレコーディッド メディア）

DVDオーディオのファイルコピーを防止する著作権保護技術です。本機はCPPMに対応しています。CPPMで著作権保護されたDVDオーディオの音声をHDMIで楽しむにはCPPM対応機器と接続してください。

D映像出力

S映像よりもさらに鮮明な映像を得ることができます。また、本端子はプログレッシブ映像出力（525p）にも対応しているため、525i信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

Dolby Digital（ドルビーデジタル）

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2ch）はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

DTS （Digital Theater Systems）（デジタル シアター システムズ）

多くの映画館で採用されているマルチチャンネルシステムです。情報量が多いので、リアルな音響効果が得られます。

HDCD（High-Definition Compatible Digital）（ハイ デフェニション コンパティブル デジタル）

通常の16bitCDに20bitの高音質な音声情報を記録する記録方式です。本機はHDCDを再生できますが、ピークエクステンション機能（高レベル信号のダイナミックレンジ拡張機能）には対応していません。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）（ハイ デフェニション マルチメディア インターフェイス）

HDMIとは、デジタル機器向けの次世代インターフェイスです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。また、本機の“HDMI AV 出力”端子はハイビジョン映像出力（750p、1125i）にも対応しています。ただしハイビジョン映像を楽しむには対応テレビが必要です。

LPCM（リニアPCM）

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。

MPEG4

モバイル機器やネットワーク上での利用を目的に作られた圧縮方式で、低ビットレートでも高能率で記録できます。本機では、当社製SDマルチカメラで撮影及び当社製DVDビデオレコーダーで記録されたMPEG4データ [SD VIDEO準拠（ASF形式）／映像：MPEG4(Simple Profile)準拠／音声：G.726準拠] の映像を再生できます。

MP3（MPEG Audio Layer 3）（エムペグ オーディオ レイヤー）

元の音質をあまり損なうことなく情報量を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンなどでCD-RやCD-RWに記録したMP3方式の音声を再生できます。

P.PCM（パックトPCM）

ひずみなく圧縮しデジタルに置き換えられた音声信号です。

S映像出力

映像信号をカラー（C）信号と輝度（Y）信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。

WMA（Windows Media™ Audio）（ウィンドウズ メディア オーディオ）

米国 Microsoft Corporation で開発された音声圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

Q & A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
接続／設置について	マルチチャンネル音声を楽しむには、どのような機器が必要か	●AVアンプと3本以上のスピーカーを準備すれば、マルチチャンネル音声をお楽しみになれます。	5、6
接続／設置について	プログレッシブ映像を楽しむにはどんなテレビが必要か	●HDMI、D2、D3、D4のいずれかの入力端子のある当社製テレビであれば、対応しています。テレビの説明書をご覧ください。	—
接続／設置について	S映像端子、コンポーネントビデオ端子、D映像端子、HDMI端子すべてがあるテレビの場合、どれに接続したらいいのか	●D映像端子またはコンポーネント映像端子に接続すると、DVDに記録されたままの状態で信号を出力するため、S映像端子に接続する場合より、さらに忠実に色を再現します。 ●HDMI端子では、1本のケーブルでデジタル高画質映像・高音質音声が楽しめます。	5 5
接続／設置について	別の地域でも使えるか	●本機は日本国内専用で、東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使用できません。	—
使いかたについて	海外で買ったDVDビデオやDVDオーディオ、ビデオCDは再生できるか	●映像方式がNTSCであれば再生できます。 ●DVDビデオは、リージョン番号が「ALL」もしくは「2」を含んでいなければ再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	— 表紙
使いかたについて	映像方式がPALのディスクは再生できるか	●DVDオーディオは再生できます。（映像を縮小して全体を表示しますが、上下に引き伸ばされた画面になることがあります。）	—
使いかたについて	リージョン番号がないDVDビデオディスクは再生できるか	●リージョン番号がないディスクは再生できないことがあります。	—
使いかたについて	CD-Gは再生できるか	●再生できません。	—
使いかたについて	ビデオに録画できるか	●ほとんどのDVDはコピー禁止処理がされており、録画できません。	—
録音について	本機からデジタル信号のままMDなどに録音できるか	●デジタル信号（PCM）で録音できます。DVDの音声を録音する場合は、本機で以下の設定をしてください。 "PCMデジタル出力"："最高48 kHz" "Dolby Digital"、"DTS Digital Surround"："PCM" "アドバンスドサラウンド"："切" （ただしディスクがデジタル信号での録音を許可していることと、録音側の機器がサンプリング周波数48 kHzに対応していることが必要です。） ●WMA、MP3は録音できません。	 18 18 15 —
画面表示について	テレビなど接続機器が対応している走査線数が、本機の"ビデオ出力モード"に表示される走査線数と異なる	●"525p"と"480p"、"750p"と"720p"、"1125i"と"1080i"はそれぞれ同等のものです。接続機器が"480p"対応でしたら、本機の"ビデオ出力モード"を"525p"に設定してください。	15

言語番号一覧表

言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6588
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アブハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ヴォラピュック	8679
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国（朝鮮）語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール（スコットランド）	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
スペイン	6983
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タタール	8484
タミル	8465
タガログ	8476
タジク	8471
チェコ	6783
中国語	9072
チベット	6679
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア（白ロシア）	6669
ベンガル（バングラ）	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マライ（マレー）	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
マダガスカル	7771
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア（レット）	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

故障かな!?

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。
それでも直らないときや、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
電源	電源が入らない	●電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	4
電源	勝手に電源が切れる	●“オートパワーオフ”を“入”にしていると、節電のため、停止状態で30分経過すると電源が自動的に切れます。 ●スリープ機能が設定されています。	18 16
操作	各ボタン操作ができない	●ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。 ●落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。電源を一度、「切」「入」してください。	ー ー
操作	リモコンが働かない	●電池が入っていますか？電池が切れていませんか？ ●リモコン受光部に向けて正しく操作してください。 ●リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色つきガラスも含む）がありませんか？ ●受光部に、日光などの強い光が直接当たっていませんか？	4 4 ー ー
操作	[▶]（再生）を押しても、再生が始まらない（または、すぐに停止する）	●寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1～2時間放置してください。 ●本機で再生できるディスクかどうか確認してください。 ●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。 ●ディスクを正しく入れてください。 ●記録済みのディスクが入っているか確認してください。 ●初期設定“視聴制限”の設定を確認してください。 ●静止画データの入ったMP3ファイルでは時間がかかることがあります。また、再生後も時間が正確に表示されないことがあります。	ー 表紙、7 24 8 ー 17 ー
操作	DVD-A 音声を切り換えると、トラックの先頭に戻る	●静止画付または音声のみのトラックでは正常な動作です。	ー
操作	DVD-A GUI画面に音声番号が“2”まで表示されるが、音声は変化しない	●2つ目の音声がなくても、通常は音声番号を2まで表示します。（再生中の音声番号は1のままです。）	ー
操作	DVD-V プログラム／ランダム再生ができない	●プログラム／ランダム再生できないDVDビデオもあります。	ー
操作	VCD スキップ・早送り／早戻し中にメニュー画面が表示される	●ビデオCDでは正常な動作です。	ー
操作	VCD （プレイバックコントロール付き）PBCメニュー画面が表示されない	●[■]（停止）を2回押した後、[▶]（再生）を押してください。	ー
操作	ABリピートの終点（B点）が自動的に決定される	●始点（A点）のみを設定すると、タイトル／トラックの終わりがB点となります。	ー
操作	ABリピートが自動的に解除される	●[クイックリプレイ]を押すと解除されます。	ー
操作	アングルを変えて見ることができない	●複数のアングルが記録されている場面でのみ切り換えることができます。	ー
操作	音声／字幕言語が切り換えられない	●複数の言語が入っていないディスクでは切り換えできません。 ●本機の[音声][字幕]では切り換えできないディスクでも、ディスクのメニュー画面等で切り換えできる場合があります。	ー 8
操作	字幕が出ない	●字幕の入っていないディスクでは字幕が表示されません。 ●字幕が“切”になっている場合は、字幕を“入”にしてください。 ●A-Bリピート再生のA点、B点や、マーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。	ー 10 ー
操作	視聴制限で設定した暗証番号を忘れた すべての設定を、お買い上げ時の設定に戻したい	以下の操作で本機をお買い上げ時の状態に戻してください。 1 停止中、本体の[❚❚]と[I◀◀／◀◀]を押しながら、テレビ画面の“オールクリア”が消えるまで、本体の[▲ OPEN/CLOSE]を押す 2 本体の電源を「切」「入」する	ー
操作	本機のリモコンでテレビの操作ができない	●リモコンの電池を交換して、テレビを操作できなくなった場合は、メーカー番号を設定し直してください。 ●働かない場合は、テレビに付属のリモコンをお使いください。	6 ー

こんなときは		ここをお確かめください	参照ページ
音声	音声が出ない （または音がおかしい）	● 接続した機器の音量を確認してください。 ● 接続、設定を確認してください。 ● 接続した機器の入力切換は正しいですか？ ● アドバンスドサラウンドを“切”にしてください。 ● オーディオオンリーを“入”に設定時は、テレビによっては映像が映らなくなるだけでなく、音も出なくなる場合があります。 ● オーディオオンリーを“入”に設定時は、“HDMI AV 出力”端子からは、映像、音声ともに出力できません。“切”に設定してください。 ● “5.1ch”“2ch”音声出力端子接続時は、“音声メニュー”で“アッテネータ”を“入”にしてください。 ● 早見／早聞き・遅見／遅聞き再生中は2チャンネル出力になり、マルチ リ.マスター、ドルビープロロジックⅡ、アドバンスドサラウンドは働きません。 ● 再生速度を切り換えるときに、音が途切れることがあります。 ● WMAの再生中に雑音が生じることがあります。 ● “デジタル音声出力”または“HDMI AV 出力”端子から音声出力時は、音声効果がBitstream信号には働きません。 ● ディスクや使用条件によっては効果が働かなかったり、出にくい場合があります。 ● “デジタル音声出力”端子から音声出力時は、“PCMデジタル出力”、“Dolby Digital”、“DTS Digital Surround”を正しく設定してください。 ● ディスク側で音声の出力方法を制限されていませんか？ マルチチャンネルのディスクには、チャンネル数と同じ本数のスピーカーが接続されていなければ、正常に再生できないものがあります。ディスクのジャケットなどを確認してください。 DVD-A ● HDMI接続で4台以上つなぐと音声が止まることがあります。 接続台数を減らしてください。 ● “HDMI AV 出力”端子から音声出力時は、 ードルビープロロジックⅡは働きません。 ーHDCDは通常CDとして再生されます。 ーその他の端子からの音声出力が設定どおりに出力されないことがあります。 ● 接続機器に合わせてスピーカー設定をしてください。 ● HDMIケーブルでアンプと接続する場合は、本機とアンプのスピーカーの有無とサイズをスピーカーが接続されている状態に合わせて設定してください。	ー 4~6、18 ー 15 9 9 15 10 10 ー 18 ー 18 ー ー ー ー ー 18 19
映像	早送り／早戻しをしたら画像が乱れる	● 多少乱れることがありますが、故障ではありません。	ー
	テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	● 接続を確認してください。 ● テレビの電源は入っていますか？ ● テレビの入力切換は正しいですか？ ● “TVアスペクト”は正しく設定されていますか？ ● オーディオオンリーを“切”にしてください。 ● テレビ側の画面モードを変更してください。 ● ズーム機能で調節してください。 ● “表示メニュー”の“4:3アスペクト”で表示サイズを調整してください。ただし、PAL方式のDVDオーディオでは働きません。 ● プログレッシブに対応していないテレビに接続して、プログレッシブ出力にしていませんか？ ［取消し］を映像が正しく表示されるまで押したままにしてください。“525i”に設定が戻ります。 ● HDMI接続で4台以上つなぐと映像が映らなくなることがあります。 接続台数を減らしてください。	4、5 ー ー 17 9 ー 11 16 ー ー
	プログレッシブ映像出力(525p、750p)、ハイビジョン映像出力（750p、1125i）時、映像の一部が二重にぶれて見える	● 映像そのものの編集方法や素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。 “画質メニュー”の“ビデオ出力モード”を“525i”（インターレース）にしてください。 “HDMI AV 出力”端子から映像出力時は、以下の手順で設定してください。 1“HDMI AV 出力”端子以外の映像端子で接続する 2“HDMI 映像優先モード”を“切”にする 3“ビデオ出力モード”を“525i”にする	15 4、5 18 15
	字幕の位置がおかしい	● “表示メニュー”の“字幕位置”で調節をしてください。	16
	メニュー画面が正しく表示されない	● ズーム倍率を“×1.00”にしてください。 ● “表示メニュー”の“字幕位置”を“0”にしてください。 ● “表示メニュー”の“4：3 アスペクト”を“ノーマル”にしてください。	11 16 16
	オートズーム（ぴったりズーム）が働かない	● テレビ側のズーム機能を解除してください。 ● “オート”以外の倍率にするか、［◀▶］を押して微調整してください。 ● 映像全体が暗い場合は、働かないことがあります。また、ディスクにより、働かないことがあります。	ー 11 ー
	“HDMI AV 出力”端子から映像出力時、映像が乱れる	● “ビデオ出力モード”の設定が間違っています。［取消し］を映像が正しく表示されるまで押したままにしてください。“525p”に設定が戻ります。	ー

こんなときは		ここをお確かめください	参照ページ
画面表示	“⊘□□□□”（□は文字）	● ディスクまたは本機で禁止されている操作です。（“⊘” 以降の文章は本機の状態によって変わります。）	ー
	“Gxx Cxx は再生できません” “Gxx Cxx は保護されたコンテンツです”	● 本機で再生できないグループ／コンテンツです。	13
	“音声は再生できません” “音声は存在しません”	● 本機で再生できない形式で音声が記録されているか、音声が記録されていません。映像のみを再生します。	13
	“ディスクを確認してください”	● ディスクが汚れています。	下記
	“著作権保護のため音声はHDMIから出力できません”	● CPPM（☞20ページ）非対応機器と接続すると、CPPMで著作権保護されたDVDオーディオの音声は“HDMI AV出力”端子からは出力できません。音声/映像コードをHDMIに対応した音声入力端子に接続してください。	4
	画面メッセージが出ない	● “画面表示”メニューの“画面メッセージ”を“入”にしてください。	18
	“ビデオ出力モード”設定中、接続機器が対応している項目に“＊”が表示されない。	● 接続する機器が対応していれば、“＊”が表示されていない項目も選べます。	15
	“HDMI状態”表示中、“ビデオフォーマット”の項目にアンダーラインがない。	● “ビデオ出力モード”で “＊”のついていない項目を選ぶとアンダーラインは表示されません。	15
表示窓	“NOPLAY”	● 再生できないディスクが入っています。 ● “ディスク”メニューの“視聴制限”を設定したディスクが入っています。 ● 番組が記録されていないディスクが入っています。	7 17 ー
	“U11”	● ディスクが汚れています。	下記
	“U15”	● ファイナライズしていないDVD-Rを入れています。	7
	“H□□” （□□は数字）	● 異常が発生しました。（“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります。）電源を一度、「切」「入」してください。	ー
	“NODISC”	● ディスクが入っていません。 ● ディスクが正しく入っていません。	ー 8
	“U70−1”	● 接続機器がHDMIに対応していません。	ー
	“U70−□”（□は数字）	● HDMI接続時に異常が発生しました。 ー接続機器がHDMIに対応していません。 ーHDMIケーブルが長すぎます。 ーHDMIケーブルが破損しています。 （“U70−”以降の数字は、本機の状態によって変わります。）	ー

■処置をされても表示が消えないときは

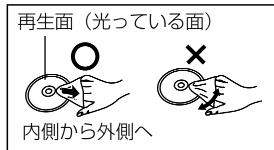
お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」（☞ 27ページ）に修理をご依頼ください。
その場合、画面や表示窓の文字をお知らせください。

お手入れ

ディスクが汚れたときは

DVDオーディオ、DVDビデオ、ビデオCD、CD

- 水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。
- 推奨品：クリーニングクロス（品番：VUA7091）（お買い上げの販売店にご注文ください。）



DVD-RAM、DVD-R

- 必ず専用の**DVD-RAM/PDディスククリーナー LF-K200DCJ1**（別売）、または**RFKZ0093**（お買い上げの販売店にご注文ください）でふいてください。
  使いかたについては、ディスククリーナーの説明書をよくお読みください。
- 布やCD用クリーナーなどは絶対に使わないでください。

ディスクに露がついたら

- 急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
- DVD-RAM、DVD-Rは、専用のクリーナー（☞上記）でふいてください。

ディスクの取扱上のお願い

ディスクの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ディスクにシールやラベルを貼らない
  （ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります。）
- 鉛筆やボールペンなどで書き込みをしない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 以下のディスクを使わない
  ーシールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスク（レンタルディスクなど）
  ーそっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  ーハート形など、特殊な形のディスク
- 次のような場所に置かない
  ー 直射日光の当たるところ
  ー 湿気やほこりの多いところ
  ー 暖房器具の熱が直接当たるところ

本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 使用環境により異なりますがレンズのクリーニングは必要ありません。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

別売品のご紹介

2004年8月現在のものです。品番は変更されることがあります。
（品番にはすべてRP-がつきます。）

名称	品番（RP-）						
S映像コード	CVS0G10 (1.0 m)	CVS0G20 (2.0 m)	CVS0G30 (3.0 m)	CVS0G50 (5.0 m)	–	–	–
コンポーネントビデオコード	CVPCG10 (1.0 m)	CVPCG20 (2.0 m)	CVPCG50 (5.0 m)	–	–	–	–
D端子ケーブル	CVDG15A (1.5 m)	CVDG30A (3.0 m)	CVDG50A (5.0 m)	–	–	–	–
D端子ピンケーブル	CVCDG15 (1.5 m)	CVCDG30 (3.0 m)	–	–	–	–	–
音声コード	CAP3G05 (0.5 m)	CAP3G10 (1.0 m)	CAP3G15 (1.5 m)	CAP3G20 (2.0 m)	CAP3G30 (3.0 m)	CAP3G50 (5.0 m)	CAP3G100 (10.0 m)
光デジタルケーブル	CA2005A (0.5 m)	CA2010A (1.0 m)	CA2020A (2.0 m)	CA2030A (3.0 m)	–	–	–
HDMIケーブル	より安定した動作や、画質劣化等の防止のため、5.0 m以下の市販品をお買い求めください。 付属品（K1HA19DA0001：2.0 m）と同等品が必要な場合は、お買い上げの販売店にご注文ください。						

著作権

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

「DTS」および「DTS Digital Surround」はDTS社の登録商標です。

MPEG Audio Layer3音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびTHOMSON multimediaからライセンスを受けています。

Windows Media, Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
WMA (Windows Media™ Audio) とは米国 Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これにより MP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。



本製品はMPEG-4特許プールライセンスに関し、以下の行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
（i）画像情報をMPEG-4ビデオ規格に準拠して（「MPEG-4ビデオ」）エンコードすること。
（ii）個人使用として記録されたMPEG-4ビデオ及び／又はライセンスを受けているプロバイダーから入手したMPEG-4ビデオを再生すること。
詳細についてはhttp://www.mpegla.comをご参照下さい。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。

HDCD®、HDCD®、High Definition Compatible Digital®、およびPacific Microsonics™は、Pacific Microsonics, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

HDCDシステムはPacific Microsonics, Inc.からのライセンスに基づいて製造されています。本製品は下記の単数または複数の特許の対象です。
米国：5,479,168、5,638,074、5,640,161、5,808,574、5,838,274、5,854,600、5,864,311、5,872,531、ならびにオーストラリア：669114、およびその他申請中の特許。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。


音のエチケット
シンボルマーク

主な仕様

（この仕様は、性能向上のため変更することがあります。）

許容周囲温度　+5～35 ℃
許容相対湿度　5～90 % RH（結露なきこと）
再生可能ディスク（8 cm、12 cm）
- DVD-RAM（DVD-VR規格対応、JPEG,、MPEG4フォーマットのディスク）
- DVD-Audio
- DVD-Video
- DVD-R（DVD-Video規格準拠）
- 音楽用CD（CD-DA）
- ビデオCD
- スーパービデオCD（IEC62107準拠）
- CD-R/RW（CD-DA、ビデオCD、スーパービデオCD、MP3、WMA、JPEG、MPEG4、HighMAT レベル 2フォーマットのディスク）
- MP3/WMA※
  ビットレート：
  MP3：　32 kbps～320 kbps
  WMA：　48 kbps～320 kbps
- JPEG※
  ー Exif Ver2.1 JPEGベースライン方式準拠
  ー 画像解像度：　320×240～6144×4096（サブサンプリング：4:2:2、4:2:0）
- MPEG4※
  当社製SDマルチカメラあるいはDVDビデオレコーダーで記録したMPEG4データ［SD VIDEO準拠（ASF形式）／映像：MPEG4(Simple Profile)準拠／音声：G.726準拠］
- HighMAT レベル 2（音声、画像）

信号形式：　NTSC

映像出力
出力レベル：　1 Vp-p（75 Ω）
出力端子：　ピンジャック
端子数：　1系統

S映像出力
Y出力レベル：　1 Vp-p（75 Ω）
C出力レベル：　0.286 Vp-p（75 Ω）
出力端子：　S端子
端子数：　1系統

コンポーネント映像出力（525p/525i）
Y出力レベル：　1 Vp-p（75 Ω）
P_B/C_B出力レベル：　0.7 Vp-p（75 Ω）
P_R/C_R出力レベル：　0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子：　ピンジャック（Y: 緑、P_B/C_B: 青、P_R/C_R: 赤）
端子数：　1系統

D1/D2映像出力
Y出力レベル：　1 Vp-p（75 Ω）
P_B/C_B出力レベル：　0.7 Vp-p（75 Ω）
P_R/C_R出力レベル：　0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子：　D端子
端子数：　1系統

音声出力
出力レベル：　2 Vrms（1 kHz、0 dB）
出力端子：　ピンジャック
端子数：
- 2ch出力　1系統
- 5chディスクリート出力（5.1ch）　1系統

音声出力特性
周波数特性
- DVD(リニア音声)：
  4 Hz～22 kHz（48 kHzサンプリング）
  4 Hz～44 kHz（96 kHzサンプリング）
- DVD-Audio：　4 Hz～88 kHz（192 kHzサンプリング）
- CD：　4 Hz～20 kHz（JEITA）

S／N比
- CD：　115 dB（JEITA）

ダイナミックレンジ
- DVD（リニア音声）：　110 dB
- CD：　100 dB（JEITA）

全高調波歪率
- CD：　0.002 %（JEITA）

デジタル音声出力
- 光デジタル出力：　光コネクター
- 同軸デジタル出力：　ピンジャック

HDMI AV 出力　19ピン
電源　AC 100 V　50／60 Hz
消費電力　約16 W
電源「スタンバイ」時 約1 W
外形寸法(幅×奥行×高さ)　430 mm×249 mm×59 mm（突起物を含む）
質量　約2.5 kg

※MP3/WMA/JPEG/MPEG4を合わせた再生可能な最大コンテンツと最大グループの合計
再生可能な最大コンテンツ（トラック数と画像数）数：4000
再生可能な最大グループ数：400

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このDVD／CDプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

22～24ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
右記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

- **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	DVD／CDプレーヤー	お買い上げ日	年　月　日
品番	DVD-S97	故障の状況	できるだけ具体的に

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0104

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

主な機能（8ページもご覧ください。）

- テレビを操作する（6ページ）
- 本体表示の切り換え（8ページ）
- 映像と音声におすすめの効果を加える（9ページ）
- より高音質で聴く（9ページ）
- より自然な音質で聴く（9ページ）
- 早見／早聞き再生・遅見／遅聞き再生（10ページ）
- 記憶させた位置から再生（10ページ）
- 見のがしたシーンをすぐ再生（10ページ）
- トップメニューを表示（8ページ）
  番組を選んで再生（13ページ）
- メニューを表示（8ページ）
  お好みのシーンを再生（13ページ）
- GUI表示（14ページ）
- 画質の調整（9ページ）
- 字幕の切り換え（10ページ）
- アングルの切り換え／画像の回転／静止画の切り換え（10ページ）
- 音声の切り換え（11ページ）
- オールグループ／プログラム／ランダム再生（11ページ）
- グループを選んで再生（10ページ）
- 画面上のノイズを取りのぞく（11ページ）
- 映像を拡大する（11ページ）

リモコン表示：DVD　電源　テレビ　電源　入力　チャンネル　音量　表示窓切換　AVエンハンサー　マルチリマスター　音声のみ　再生速度　1　2　3　4　5　6　7　8　9　0　≧10　ポジションメモリー　取消し　クイックリプレイ　スキップ　スロー/サーチ　停止　一時停止　再生　プログラムナビ　トップメニュー　プレイリスト　メニュー　決定　画面表示　リターン　戻る　コントラスト　ブライトネス　シャープネス　カラー　字幕　音声　アングル/ページ　初期設定　再生モード　ノイズリダクション　ズーム　グループ　Panasonic



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

愛情点検	長年ご使用のDVD/CDプレーヤーの点検を！
	こんな症状はありませんか ● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある → **このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。**

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DVD-S97
販売店名	☎（　　）　－		

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

〒571－8504 大阪府門真市松生町1番15号

RQT7886-S
F0804AK0